

皇帝爰在弱冠經營四方還乎立年撫臨億兆
始以武功壹海內終以文德懷遠人東越青丘
南踰丹微皆歆琛奉贊重譯來王西暨輪臺北
拒玄關並地列州縣人元編戶睦焉

佐藤青苑

氣壯年和定安遠肅群生成遂靈既畢臻雖藉
二儀之功終資一人之靈遠身利物拂風沐雨
百姓為心憂勞成疾同堯肌之如腊甚禹足之
胼胝針石屢加膝理猶滯爰居京室

秋山弦草

每弊爰著群下請建離宮無可怡神養性聖工
愛一夫之力惜十家之產深閑固拒未肯俯從
以為隨氏舊宮營於農代棄之則可惜毀之則
重勞事貴因循何必改作

森井翠鳳

於是蹻形為標損之又損去其泰甚營其頽壞
離丹堦以沙磧間粉壁以塗泥玉砌接於土階
茅茨績於瓊室仰觀壯麗可作鑒於既往俯察
卑儉足垂訓於後昆此所謂至人無為

今口鷺外

大聖不作彼竭其力我享其功者也然昔之池
沼咸引谷澗宮城之內本乏水源求而無之在
乎一物既非人力所致聖心懷之不忘卑以四
月甲申朔旬有六日己未

風岡五城

—— 明けましておめでとうございます

本年も何卒よろしくお願い申し上げます ——

と書き出したものの実際のところ現時点あわただしい師走の只中であつて、あつという間に過ぎ去つて了つたこの一年を振り返っている。

上掲のあしで會展での「五人會」の作品に纏わる様々なことも書き切れぬ程愉快な事柄であつたが、その辺は別頁の社中展スナップ等に委ねたいと思う。

この一年の悲喜交々なことが胸に去来するが、「終わり良ければ全てよし」と互いの健筆健勝を寿ぎ、先ずは目出たしと新年を迎えるの心境である。

つい先日には今や恒例となつている大阪コレギウム・ムジクムの「クリスマス・コンサート」に何人かの門人達と出掛けた。

バッハのクリスマス・オラトリオの長く美しい演奏には否応なしに聖書の敬虔な世界に誘われ、文句なしの「メリークリスマス」。続いての数々のクリスマス・名曲、そして讃美歌「さやかに星はきらめき」に至つては万感胸に迫ろうというもの。お約束の師走の仕合わせなひと時である。

それにしてもお馴染みのシュッツの歌姫達、何とノーブルに輝き、麗しき美声であることよ。かくも長きに亘つて聴き続けていると、合唱団の歴史とも言ふべき来し方さえ思い出され、時に胸詰まるおもいさえ…。要するに「音楽つて本当にいい！」とこは軽く申し上げておこう。

そんな風に今年も年輪を刻みながら、何はともあれ会員皆様には平成二十五年が、愈々に佳き年となりますよう衷心よりお祈り申し上げます。